エコパークかごしま通信 VOL.38

令　和　8　年　1　0　月
公益財団法人鹿児島県環境整備公社
（エコパークかごしま）

第 18 回エコパークかごしま安全監視委員会について

8 月 17 日（月）に第 18 回「エコパークかごしま安全監視委員会」が開催されました。当公社から廃棄物の搬入状況や埋立状況、環境モニタリングの実施状況について報告した後、覆蓋施設及び水処理施設の状況を確認してもらいました。





覆蓋施設内の状況を確認している様子

各委員からは、「埋立の維持管理はうまくいっている。」「埋立が終わった後に早く廃止できるよう、その準備を早く始めた方がよい。」「出てきている水もきれいに純化されていることが確認できた。」「豪雨や地震に対応するための防災上のシナリオを考えておくことが大事。」などの意見がありました。総括して、委員長からは、「エコパークかごしまが安全に稼働していることを確認した。」との意見をいただきました。

廃棄物の受入状況について

〈令和８年８月末現在〉

廃棄物の種類	搬入量（トン）	割合（%）
燃え殻（一般廃棄物を含む）	193,371	44.16
がれき類（廃石膏ボードを含む）	78,260	17.87
汚泥	44,986	10.27
ばいじん（一般廃棄物を含む）	44,294	10.12
ガラスくず，コンクリートくず及び陶磁器くず	39,755	9.08
木くず	17,983	4.11
廃プラスチック類	9,935	2.27
13 号廃棄物	5,603	1.28
鉱さい	1,790	0.41
動植物性残さ	990	0.23
金属くず	393	0.09
紙くず	320	0.07
繊維くず	190	0.04
合計	437,871	100.00

※小数点以下四捨五入のため、合計と一致しません。

令和７年度の搬入量は、約４万 6,188 トンで、開業以来、過去最高となりました。

平成 27 年１月の開業から今年８月末までに約 43 万８千トンの廃棄物を受け入れています。

受け入れた廃棄物の種類は、多い順に、燃え殻（一般廃棄物を含む）、がれき類（廃石膏ボードを含む）、汚泥、ばいじんとなっており、この４種類で全体の約８割を占めております。

引き続き、安心・安全な施設の管理・運営のもと、搬入量の確保に努めてまいります。

教えて！エコパーク先生！





たくさん並んでいる青色のものは何ですか。



太陽光パネルというもので、太陽の光で電気を作っているよ。広い場所にたくさん並べられていたり、家の屋根の上に置いてあったりするよ。

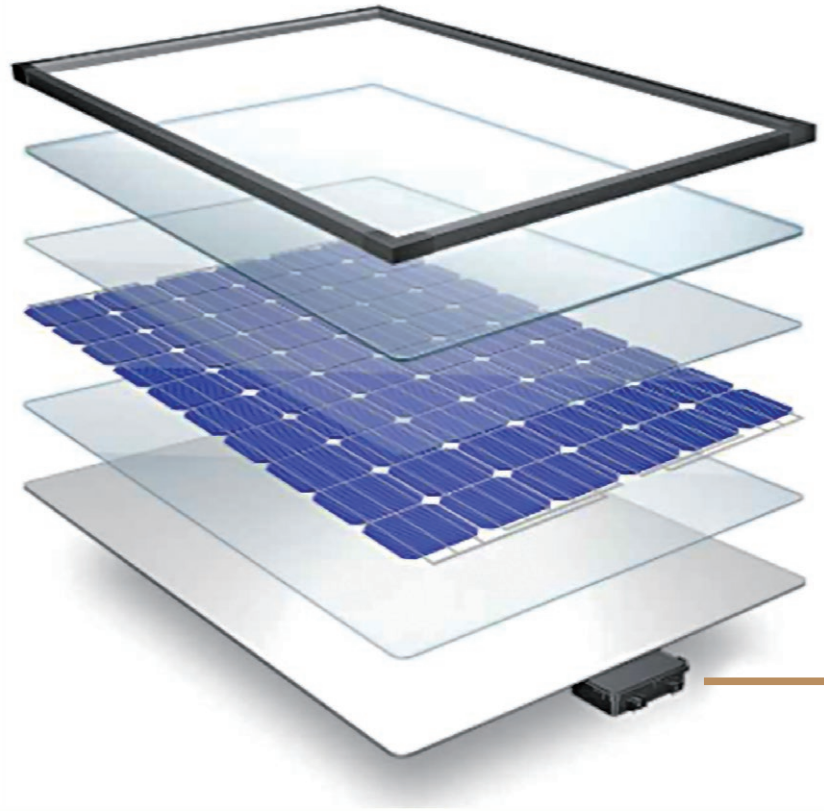
外に置いてあるけど、台風が来たら壊れないのかな。壊れた時はどのように処分されるのかな。





いいところに気づいたね。たしかに気になるね。処分について勉強する前に、まず、太陽光パネルがどんな部品でできているか、見てみましょう。

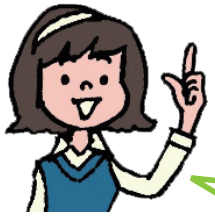
太陽光パネルの構造



出典：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）資料より



ガラスやシート等、いろんな部品が重なってできているんだね。



部品がたくさんあったけど、どうやって処分するのかな。



それでは実際の処分方法について、太陽光パネルの処分をしている株式会社誠建設さんの薩摩川内市樋脇町にある処分場を例に見ていきましょう。

【太陽光パネルの処分】

中間処理施設



分解工程

本体からフレームとジャンクションボックスを取り外す



破砕工程

表面のガラスを破砕（細かく）し回収する



破砕工程

残り（シート等）をまとめて破砕（細かく）する

有効利用

アルミフレーム



アルミリサイクル

破砕後のガラス



ガラスリサイクル

ジャンクションボックス



破砕後のシート



金属リサイクル（銀や銅を回収）



いろんな機械を使って部品を取り外したり、細かくしたりするんだね。



ほとんどがリサイクルされているんだね。

そうだね。リサイクルの技術が進んで、今ではほとんどの部品を有効利用できるようになっています。



排出事業者様にお話を伺いました！

屋久島電工株式会社（熊毛郡屋久島町）安全環境課　濱田義竜（よしたつ）副課長にお話を伺いました。

当社は現在、日本で唯一の炭化けい素メーカーとして、自然豊かな屋久島でお客様の用途に応じた多種多様な製品を製造・販売しております。
その一方で、半世紀以上に渡り、その豊富な水資源を活用したクリーンな電力を配電事業者様を通じて屋久島の皆様へお届けしております。
目まぐるしい変化を遂げている現代社会ですが、これからも太古の自然と調和を図り、地域の発展に貢献してまいります。





製造工場敷地内で発生する排水は、雨水とともに最終沈殿池にて最終チェックを行い、適正に放流しております。
この最終沈殿池においては、定期的に清掃を行い、清掃に伴って発生した汚泥は乾燥後、エコパークかごしま様へ排出しております。
当社は離島に立地しており、天候等による海上輸送の不安定さという課題を抱えておりますが、運搬業者様等の御協力により、計画的な産業廃棄物処理が可能となっております。世界遺産の島である屋久島の持続的な環境保全を実現する上で、エコパークかごしま様は当社にとって不可欠な存在です。

環境調査結果について

環境保全協定や関係法令等に基づき、周辺の水質（地下水及び河川水）の測定を実施しています。また、毎日の設備点検においても地下水や浸出水等に異常がないか確認をしています。これらの調査結果については、これまで同様、異常は認められていません。
詳しい調査結果については、エコパークかごしまのホームページに掲載しています。


浸出水の水質調査

エコパーク周辺の地域振興策について

準用河川阿茂瀬川では、中流域（阿茂瀬橋～第２川永野橋）の護岸工事を順次行っているところです。
また、県道百次木場茶屋線の道路改良工事も行っているところです。
今後とも、地域振興策の円滑な実施に取り組んでまいります。


阿茂瀬川の護岸工事の様子

☆編集後記☆
震度７を観測した７月28日の熊本地震では、薩摩川内市でも震度５強を観測しました。幸いにもエコパークかごしまには被害はありませんでしたが、被害に遭われた皆様には、お見舞申し上げますとともに、１日でも早く元通りの生活ができますことをお祈りいたします。
今後とも、自然災害への備えをはじめ、安心・安全を第一とした施設運営に努めてまいります。

問い合わせ先
○公益財団法人鹿児島県環境整備公社
〒895-0033 薩摩川内市川永野町6924番地11
ＴＥＬ　０９９６－２１－１２２０
ＦＡＸ　０９９６－２１－１３６０
※この「エコパークかごしま通信」は、当公社ホームページ(http://www.ep-kagoshima.or.jp/)でも閲覧いただけます。